

教育研究データ

| | | | |
|---------------------------------------|-------------------------|---|-----------------------------------|
| 1. 氏名 | 塚村 英幸 | | |
| 2. 生年月 | 1947年5月 | | |
| 3. 取得学位 | 教育学士 | | |
| 4. 教育業績 | | | |
| 教育上の能力に関する事項 | 年 月 | 概要 | |
| (1) 教育内容・方法の工夫 | 2007年4月 2007年10月 | ①全ての授業, 毎回, 出席票を兼ねた学生からの質問, 感想, 意見を提出してもらい, 次の講義のときに質問等に答えて, 学生の理解を促進している。 ②「児童福祉論 (現・児童や家庭に対する支援と児童・家庭福祉制度)」, 「社会福祉発達史 (現・社会福祉の歴史)」の終わりに毎回2～5問の社会福祉士国家試験を意識した小テストを実施し, 対策を早くから行う。 | |
| (2) 教育方法・教育実践に関する発表, 講演等 | 2010年2月 | ①広島県児童養護施設協議会 子ども支援部会研修会において, 「傾聴 (アクティブ・リスニング)」のワークショップを実施した (5時間)。 | |
| 5. 研究業績 | | | |
| (1) 著書 | 単著 共著 の別 | 発行の年月 | 発行所 |
| ①となりの事情 | 共 | 1995年9月 | ミネルヴァ書房 |
| ②高次脳機能障害支援モデル事例集1 | 共 | 2003年3月 | 高次脳機能障害支援モデル事業 地方拠点病院等連絡協議会・厚生労働省 |
| (2) 学術論文 | 単著 共著 の別 | 発行の年月 | 掲載紙および巻/号, 頁 |
| ①高機能広汎性発達障害女児の成長過程～学校・家庭の柔軟な対応を受けた一例～ | 共著 | 1999年11月 | 『日本発達障害学会 第34回研究大会抄録集』 47 |
| ②被虐待児の家庭復帰に向けた家族面接の過程 | 共著 | 2002年1月 | 『中国四国心理学会論文集』第33巻, 73 |
| ③肢体不自由者施設における支援の実際－高次脳機能障害に対する心理学的支援－ | 共著 | 2005年2月 | 『中国四国心理学会論文集』第35巻, 73 |
| ④肢体不自由者更生施設における利用者のトラブルへの対処と対人関係調整 | 共著 | 2003年1月 | 『中国四国心理学会論文集』第36巻, 83 |

| | | | |
|---|-------|----------|---|
| の試み | | | |
| ⑤高齢障害者の処遇に関する研究(14) －特養ホーム吾妻園における重度化への対応と課題－ | 共著 | 2005年2月 | 『中国四国心理学会論文集』第38巻, 48 |
| (3) 研究・作品発表 | 発表の年月 | | 発表学会等 |
| ①発達相談における『経過観察』の意義について | | 2005年11月 | 中国四国心理学会 38回大会 |
| ②「電話内容の特徴」 | | 2009年6月 | 2008年度マツダ市民活動支援金事業 「2008年度ひろしまチャイルドライン実施報告書」 |
| (4) 所属学会 | | | |
| ①日本こども学会 | | | |
| ②日本児童虐待防止学会 | | | |